

令和6年度 杉並区立小中一貫教育校 高円寺学園 学園経営方針・計画

I 令和6年度学園経営の最上位目標…「杉並区教育ビジョン 2022」を踏まえ、学園の全ての教育の場面で児童・生徒、保護者、教職員、地域の方のウェルビーイングを実現します。

II 令和6年度の重点とする目標…

- 1 高円寺の特質を生かした熱気あふれる教育を前に進め、学園に関わる全ての人々が「One and Only(唯一無二)」と誇れる学園を実現します。
- 2 教育目標「互いを助け高め合う」を重点に、児童・生徒の自己肯定感と他者信頼感を高める学園づくりを進めます。
- 3 児童・生徒の人権といのちを守る教育を進め、児童・生徒一人一人が安心感・安全感を保てる学園づくりを進めます。
- 4 学園の様々な課題を克服し、質の高い教育を実現するため、教職員のウェルビーイングを実現する学園づくりを進めます。



「杉並区教育ビジョン 2022」に基づき、以下を本学園として実現する。

目指す学園の姿「学び舎 高円寺」

- 主体的・対話的な学びを大切にする学園
- まちのコミュニティの核になる学園
- 地域の就学前施設と連携し幼児期の学びを生かす学園
- 互いの人格を尊重し、共生社会の基礎作りを目指す学園
- すべての教職員が「チーム高円寺」の意識で学園づくりに取り組む学園

高円寺学園の教育目標
 深く学ぶ
 ◎互いを助け高め合う
 たくましく生きる

教職員のあるべき姿勢「高円寺シップ」+

- かかわりをつなぐを大切にしよう。
- まちに支えられている学校という意識でこれからのまちをつくる人を育てよう。
- 学校運営協議会、学校支援本部とともに教育活動を展開していこう。また、地域人材を積極的に活用し、指導に活かすとともに、われわれも積極的にまちに出ていこう。
- 高円寺北子供園・幼稚園・保育園等、近隣就学前の教育施設との連携教育を継続していこう。
- 高円寺の伝統と文化を継承し、まちに貢献していこう。
- 地域の防災拠点としての取り組みを継続していこう。

方針1 「One and Only の学園」を実現します

【経営方針・計画事業等】

- (1) 小・中学部の児童・生徒・教員間の交流・協働(小中一貫教育)をより進めます。(学年交流、英語交流、交流給食の開始等)
- (2) 全児童・生徒の高円寺のまちの文化を担おうとする心を育てます。(阿波おどりを学ぶ、踊る行事・地域貢献活動・日本の伝統文化教育等)
- (3) 小学部において、少人数、チームでの指導による、英語教育を開始します。
- (4) イマジナス等と連携し「高円寺流 STEAM 教育」の研究と実践を行います。
- (5) 特別支援学級と通常学級との交流を充実させます。
- (6) 体育祭・文化祭など、熱気あふれる学校行事を実施します。
- (7) エリア内就学前教育施設等との連携(幼保小中連携)を深めます。
- (8) 教職員の「インクルーシブ教育」についての専門性を高め、児童・生徒の困り感に寄り添う教育を進めます。
- (9) オープンスペースを児童・生徒にとって「居心地の良い」空間にします。

方針2 児童・生徒の自己肯定感と他者信頼感を高めます

【経営方針・計画事業等】

- (1) 毎日の授業で児童・生徒間の対話を生み出し、豊かにかかわり合う(認め合う・助け合う・高め合う)活動を積極的に取り入れます。
- (2) 児童・生徒の学級内でのウェルビーイングの実現状況を把握するため、WEB QU テストを試行します。
- (3) タブレット PC を活用した主体的・協働的な学習や調べ学習を進めます。
- (4) 確かな学力の確実な定着と向上に向けて、学習評価を充実します。
- (5) 学習ツールとしての AI ドリルを有効に活用します。
- (6) 高円寺を愛し、地域に貢献しようとする心を育てる教育を推進する。
- (7) 住環境学習、キャリア教育、インクルーシブ教育に重点を置く、系統性のある総合的な学習の時間を推進します。
- (8) 専門家による運動部の活性化等、体力向上に資する取組を進めます。
- (9) 小学部高学年での一部教科担任制を進めます。
- (10) 全教師が児童・生徒の自己肯定感と他者信頼感を高める指導・支援及び、学年・学級経営、行事運営を行います。

方針3 児童・生徒の安心感・安全感を保ちます

【経営方針・計画事業等】

- (1) 「人権意識＝やさしい心・思いやりの心・多様性を尊重できる心」を育むために、人と人のかかわりを大切に教育を推進する。
- (2) 学園内の人間関係において、互いの人格を尊重し合うために、相手の名を呼ぶ際に「さん付け」を心掛けます。
- (3) 「高円寺学園 いじめ防止基本方針」を改訂し、いじめや暴力のない学園・学部・学年・学級経営を進めます。
- (4) 児童・生徒のデジタルシティズンシップを育て、SNS等にかかわる人権侵害行為の当事者(加害・被害)となる事案の発生を防ぎます。
- (5) 校内に不登校の児童・生徒等が安心して過ごせる居場所として、別室指導教室(呼称「ほっとスペースこうえんじ」)を設置します。
- (6) 児童・生徒の安全指導・安全管理を徹底します。
- (7) 教職員全員が児童虐待防止・DVについての理解を深め、法に基づく対応を履行します。

方針4 教職員のウェルビーイングを実現します

【組織経営・教職員の育成等にかかわる経営方針・計画事業等】

- (1) 地域運営型学校として、学校運営協議会、学校支援本部、地域教育推進協議会等、地域と協働した経営及び教育活動等を進めます。
- (2) 教職員のウェルビーイングを高めるために、教職員集団の「心理的安全性」を確保するとともに労働環境を良い状態に保ちます。
- (3) 教育目標の実現を目指しカリキュラムマネジメントを充実します。
- (4) 統括主幹教諭を中心とした小中学部の協働を進めます。
- (5) 校内の専門職や外部人材等を活用し、組織の多様性を高め、レジリエンス(様々な困難から立ち直る力)の高い学校組織を実現します。
- (6) 済美教育センターの協力を得て、教員のOJTを進めます。
- (7) PC活用能力を教師の学習指導力として能力開発を行います。

【働き方改革等にかかわる経営方針・計画事業等】

- (1) 校務の協働化とデジタル化を進めます。
- (2) 校務PCを活用したタイムマネジメントを全教員が進めます。
- (3) 産業医からの指導等を受け、安心な勤務環境を実現します。
- (4) 教職員に「働き方改革『しあわせ』ルール」の意識化を図ります。